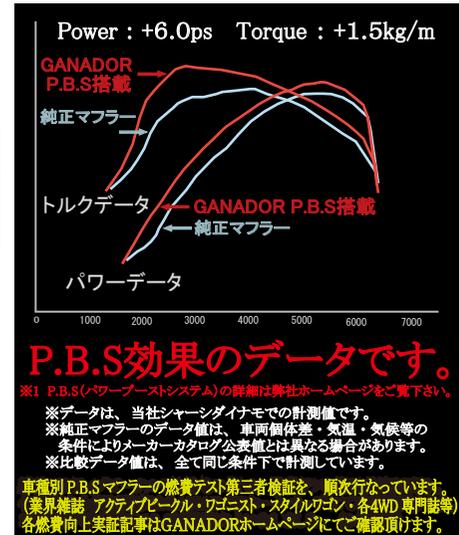


ハイブリッドスポーツマフラー 実走行燃費テスト

第三者検証燃費テスト時も
全く同じで行っています。

- 同じ距離を、同じアクセルワーク（同じ加速 / 同じスピード） / 走行時間も同じで対比テストを繰り返した結果です。
- 各セッションでの、設定速度までに達する時間も同一に管理。

対比の為マフラー交換後、再度走行



総走行距離 151.5Km 一般道路 32.2km (21.3%) 高速道路 95.2km (62.8%) 山間道路 24.1km (15.9%)

フィットシャトル ハイブリッド GP2 パワー / トルク / 音量 / 重量データ (社内データ)

装着マフラー	パワー (ps)	トルク (kg/m)	Aトリップ音量 (dB)	近接音量 (dB)	重量 (kg)
ノーマルマフラー	103.9	15.9	56.0	75.0	4.3
GANADOR P.B.Sマフラー	109.9	17.4	58.0	87.0	5.8

フィットシャトルハイブリッド GP2 燃費対比テストデータ (社内データ)

テスト日	天候	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費向上率
2011/7/29	曇り一時雨	151.5	7.75	...
2011/7/29	曇り一時雨	151.5	6.77	14.5% アップ

● ハイブリッドスポーツマフラー 5大特長

- 1. 燃費向上** 今までのスポーツマフラーの概念を打ち破る、燃費向上(社内データ)を実現。車種別専用設計と膨大なテストデータから誕生。
- 2. パワーアップ** ノーマルマフラー対比6.0psアップ。パワーアップにより余裕ある運転ができ、さらには高速道路での胸のすくような加速感を体感できます。
- 3. トルクアップ** ノーマルマフラー対比1.5kg/mアップ。低回転からトルクを生み出し非常に乗りやすく、街中での発進や登坂路でのドライブが快適です。
- 4. 音量** フィットシャトルハイブリッド専用設計により、車両全体を包み込むような、非常に心地よい低音サウンドを奏でます。もちろん新規制対応の車検対応品です。
- 5. 製品品質** 生産工程での品質管理はもとより、マフラー1本1本をシリアルナンバーで管理し、厳重な検査を行い出荷しています。

● 実走行燃費テスト方法・条件

- 1. 燃費測定方法**
 - 給油量の記録(給油機による、自動停止方法を指定、給油量の記録)
 - ※同一のスタンドにて、同じ車両の向き・同じタイヤ位置で停車し、全く同じ条件で正確に計測。
 - 走行距離は車載オドメータの記録。(給油時にリセット、次の給油までの距離の記録)
 - 走行距離 (Km) ÷ 給油量 (L) で、燃費データを算出。
- 2. 初期設定、走行条件**
 - フルノーマル車両/乗員は2名/エアコンON (25℃設定)にて計測。
 - 交通法規に準じ、一般道は道路状況の流れに合わせて走行、高速道は100km/h巡航とする。
 - 渋滞発生時などは、その場で中止し再テストを行う。
- 3. 走行パターン(トータル性能を確保する為、走行条件を盛り込んだ設定)**
 - 一般道32.2km(約21%) 高速道95.2km(約63%) 山道(登り/下り)24.1km(約16%)
- 4. すべて同一条件での対比テストを行う**
 - 同一条件項目: 走行距離・走行時間・アクセルワーク(加速/スピード)
 - 加速時の管理: 各セッションでの、設定速度までに達する時間も同一に管理するのが重要。

燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で計測しています。
検証される場合は、本リーフレットと同じ「満タン法」で行なって下さい。